

2016年度以降のカリキュラム適用者

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

リベラルアーツ学群教員一同

アジア地域研究専攻プログラム

履修のしかた

- アジア地域研究専攻で勉強できる地域：
東アジア（日本・北朝鮮・韓国・中国・モンゴル）、西アジア（西南アジアとも言う、アフガニスタン・イラン・イラク・サウジアラビア等）、南アジア（インド・パキスタン・バングラデシュ・ネパール・スリランカ等）、東南アジア（ベトナム・ミャンマー・フィリピン・マレーシア・シンガポール・インドネシア等）、東北アジア（北東アジアとも言う）、中央アジア（カザフスタン・キルギス・タジキスタン・ウズベキスタン・トルクメニスタン等）、オセアニア（オーストラリア・ニュージーランド等）。
- アジア地域研究専攻で勉強できる分野：
アジアの国際関係、日中関係、日米関係、日韓関係、日朝関係、アジア各地域の政治・経済・文化、宗教（儒教・仏教・キリスト教・イスラーム）・歴史・留学・NGO 活動、NPO 活動、国際協力、ODA、歴史認識、アジア諸国の語学等。
- 1年次に履修しておいた方がよい科目： アジア研究概論(ただし必須ではない)。
- 2年次に履修しておいた方がよい科目： 発展途上国論。あわせて専攻したい地域、例えば東南アジア、の科目を意識して、当該地域関係の科目から取りあえず、興味のある科目から履修してみよう。
- 2年次以降に履修できる科目：
アジアの歴史Ⅰ、アジアの歴史Ⅱ、ユーラシア文化交流史、東南アジア研究、南アジア研究、アジアの政治、アジアの経済、アジアの思想と宗教、アジア女性論、オセアニアの政治と経済、韓国文化論、中国文化論、東南アジアの現代社会、東アジアの現代社会、東北アジア研究、東アジア研究、西アジア研究、日韓交流史、アジア研究特論（南アジアの国際関係）、アジア研究特論（モンゴルの歴史と文化）、アジア研究特論（イスラーム研究の諸問題）、イスラーム文化論、興味のある地域科目から3～4科目を重点的にとることが一般的です。

他の専攻プログラムとの関係

- 特に関連性の強い専攻プログラム： 文化人類学、歴史学、国際関係、国際協力
- マイナーとして推奨する専攻プログラム：アメリカ地域研究、日本地域研究、中国言語文化、日本語日文学、英語学・英文学

留学・教職その他

- 留学： GO プログラムで、中国大陸、台湾、韓国、豪州等へ出かける学生は、語学だけでなく、現地の博物館や歴史的遺跡等を訪ねて見て下さい。
- 教職： 4年生になると就職活動や実習が入るので、3年次までに計画的に、教職に充当できる専攻プログラム科目を履修しておくこと。
- 毎年開催しているイベント： 講演会は非定期的に行われていますが、日時等についての情報はその都度掲示します。

学生へのメッセージ

- 真の国際的人材、世界のどこでも活躍できる人材になるためには、まず身近のアジア地域から勉強を始めましょう。

アジア地域研究専攻プログラム

1 東南アジア研究・広域アジア研究・履修モデル

本履修モデルは、中国とインドの社会文化の合流点である東南アジア諸国の政治・経済・社会の動向とアジア太平洋の国際関係を学びたいという学生向けの履修モデルです。東南アジア研究を希望する学生は、発展途上国論を履修後、東南アジア研究のカテゴリーの科目を優先的に履修すると良いでしょう。

アジア太平洋の国際関係を学びたいという学生は、アジアの政治、国際機構論、国際政治論等と、広域アジア研究のカテゴリーの科目を優先的に履修することを薦めます。なお、専攻演習・卒業論文は必修ではありませんが、政治学・経済学・社会学・文化人類学等の分析枠組を身につけるためには必要な科目です。

専攻演習I、専攻演習IIだけは、少なくとも取っておいた方が、就職試験で「大学で何を学びましたか」と聞かれた時のために良いでしょう。説明能力・説得力も身につきます。

アジア地域研究専攻プログラム科目

level カテゴリー	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
入門基礎		HIS1000L	世界史概論	4												
	○	POL1000L	政治学概論	4												
		REL1000L	宗教学概論	4												
		ANT1000L	文化人類学	4												
	○	ANS1000L	アジア研究概論	4												
アジアの歴史と文化						ANS2131L	アジアの歴史 I	4		HIS3250L	ユーラシア文化交流史	4				
						ANS2132L	アジアの歴史 II	4		HIS3220L	日韓交流史	4				
						ANS2380L	アジアの思想と宗教	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
						○ ANS2141L	中国文化論	4	○	ANT3110L	イスラーム文化論	4				
世界の中のアジア					○	ANS2381L	発展途上国論	4	○	ANS3110L	アジアの政治	4				
						ANS2120L	アジアの経済	4		ANS3380L	東北アジア研究	4				
						ANS2150L	東アジアの現代社会	4		ANS3180L	東アジア研究	4				
						○	ANS2180L	東南アジア研究	4	○	ANS3181L	南アジア研究	4			
						○	ANS2181L	東南アジアの現代社会	4		ANS3182L	西アジア研究	4			
						○	ANS2310L	オセアニアの政治と経済	4		ANS3381L	アジア女性論	4			
									ANS338*L	アジア研究特論	4					

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習 I
- ・専攻演習 II
- ・卒業論文〔4〕

アジア地域研究専攻プログラム

2 現代中国・日中関係研究・履修モデル

本履修モデルは、現代中国の政治・経済・文化・社会及び日中関係の歴史と現状に対して興味のある学生に提示する履修モデルです。2年次に、中国語や英語を学びながら、レベル100またはレベル2000で表示されている中国・アジア関連の授業を受講した方が良いでしょう。語学の習得と専門知識の把握という一石二鳥の効果が大きいと期待されます。欧米など英語圏から来日した留学生も英語の授業のみならず、日本語・中国語で行われている中国・アジア関連の授業にチャレンジしてほしいと思います。それを通して魅力ある中国またはアジアを再発見することができるでしょう。

なお、授業科目を選ぶときには、科目名だけで判断せず、シラバス等で丹念に調べ、その授業の具体的な研究地域または国家、さらに外交・文化等の専門分野も確認しておいた方が良いでしょう。3年生以上になると、レベル3000以上の授業や専攻演習I、専攻演習IIの履修を強くお勧めします。

アジア地域研究専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
入門基礎		HIS1000L	世界史概論	4												
	○	POL1000L	政治学概論	4												
		REL1000L	宗教学概論	4												
		ANT1000L	文化人類学	4												
	○	ANS1000L	アジア研究概論	4												
アジアの歴史と文化					○	ANS2131L	アジアの歴史Ⅰ	4		HIS3250L	ユーラシア文化交流史	4				
					○	ANS2132L	アジアの歴史Ⅱ	4		HIS3220L	日韓交流史	4				
						ANS2380L	アジアの思想と宗教	4	○	ANT3111L	儒教文化論	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
					○	ANS2141L	中国文化論	4		ANT3110L	イスラーム文化論	4				
世界の中のアジア						ANS2381L	発展途上国論	4	○	ANS3110L	アジアの政治	4				
					○	ANS2120L	アジアの経済	4		ANS3380L	東北アジア研究	4				
					○	ANS2150L	東アジアの現代社会	4	○	ANS3180L	東アジア研究	4				
						ANS2180L	東南アジア研究	4		ANS3181L	南アジア研究	4				
						ANS2181L	東南アジアの現代社会	4		ANS3182L	西アジア研究	4				
						ANS2310L	オセアニアの政治と経済	4		ANS3381L	アジア女性論	4				
									ANS338*L	アジア研究特論	4					

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕

アジア地域研究専攻プログラム

3 アジアの文化研究・履修モデル

「アジアはひとつ」といったのは、明治時代的美術評論家・岡倉天心でしたが、ひとくちにアジアの文化といっても多様なものがあります。この履修モデルは、アジアの各地域の文化・宗教・思想、さらにアジアと欧米の文化交流、アジア域内の文化交流に対し興味のある学生に提示する履修モデルです。2年次までに、英語のほかにアジア地域の言語、例えば中国語・韓国語・インドネシア語・カンボジア語・タイ語・ビルマ語・ベトナム語などから一言語を学びつつ当該地域の文化に関する授業を受講するのが望ましいでしょう。また、アジア諸地域から来日した留学生の場合には、出身国や日本だけに目を向けず、その他のアジア地域の文化等の授業も受けることをお勧めします。

授業科目を選ぶときには、科目名だけで判断せずに、シラバスなどで丹念に調べ、その授業が対象とする具体的な地域や、できればその地域に関する政治や社会などの分野もあわせて学習する方が良いでしょう。

3年生以上になると、レベル3000以上の授業や「専攻演習I」、「専攻演習II」の履修を強くお勧めします。この履修モデルのように、アジア地域研究プログラムの授業科目を32単位以上履修すれば、あなたは「アジア地域研究専攻プログラム」をメジャーとして卒業することができます。その場合にも可能な限り他の専攻プログラムの授業科目を履修し、幅広い視野と学識、学び方を身につけるようにしてほしいと思います。

アジア地域研究専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
入門基礎	○	HIS1000L	世界史概論	4												
		POL1000L	政治学概論	4												
		REL1000L	宗教学概論	4												
		ANT1000L	文化人類学	4												
	○	ANS1000L	アジア研究概論	4												
アジアの歴史と文化						ANS2131L	アジアの歴史 I	4	○	HIS3250L	ユーラシア文化交流史	4				
						ANS2132L	アジアの歴史 II	4		HIS3220L	日韓交流史	4				
					○	ANS2380L	アジアの思想と宗教	4	○	ANT3111L	儒教文化論	4				
					○	ANS2140L	韓国文化論	4	○	ANT3112L	仏教文化論	4				
					○	ANS2141L	中国文化論	4	○	ANT3110L	イスラーム文化論	4				
世界の中のアジア						ANS2381L	発展途上国論	4		ANS3110L	アジアの政治	4				
						ANS2120L	アジアの経済	4		ANS3380L	東北アジア研究	4				
						ANS2150L	東アジアの現代社会	4		ANS3180L	東アジア研究	4				
						ANS2180L	東南アジア研究	4		ANS3181L	南アジア研究	4				
						ANS2181L	東南アジアの現代社会	4		ANS3182L	西アジア研究	4				
						ANS2310L	オセアニアの政治と経済	4		ANS3381L	アジア女性論	4				
								○	ANS338*L	アジア研究特論	4					

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習 I〔2〕
- ・専攻演習 II〔2〕
- ・卒業論文〔4〕

アジア地域研究専攻プログラム

4 イスラーム研究・履修モデル

本履修モデルは、アジア最大の宗教であり、アジア諸国の政治や社会に大きな影響を与えている、イスラームに関心を持つ学生向けの履修モデルです。イスラームを学びたい学生は、A. 思想や歴史、またはB. 時事的問題に関心をもつ人に大別されますが、どちらかに比重を置きながらも、広い視点からA、Bを組合わせた履修を心がけて下さい。例えば、イスラームの基礎知識を提供するイスラーム文化論や、イスラーム世界に限らず第三世界に共通する問題の分析に役立つ発展途上国論などは、A、Bに共通して履修を薦めます。また、国際政治論を履修すると、現代イスラーム世界に関する理解も深まるでしょう。

また、自分のテーマの確立だけでなく、それを分析するディシプリンを持つことが大事です。入門基礎の政治学概論や宗教学概論、または文化人類学など、目的に応じて必要な科目を選んで下さい。

以上とあわせて、Aの人ならアジア歴史・文化研究、Bの人なら東南アジア・広域アジア研究を中心に履修するとよいでしょう。合計32単位以上を修得すれば、アジア地域研究をメジャーとして卒業できますが、自分の最終的な専攻を明らかにするため、3年次には専攻演習I、IIをぜひ履修してほしいです。また、メジャー専攻者は、イスラーム世界の文化的共通語であるアラビア語または自分が興味をもつ地域の言語を1つでも学習するのが望ましいです。

アジア地域研究専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
入門基礎	○	HIS1000L	世界史概論	4												
		POL1000L	政治学概論	4												
		REL1000L	宗教学概論	4												
		ANT1000L	文化人類学	4												
	○	ANS1000L	アジア研究概論	4												
アジアの歴史と文化						ANS2131L	アジアの歴史Ⅰ	4	○	HIS3250L	ユーラシア文化交流史	4				
						ANS2132L	アジアの歴史Ⅱ	4		HIS3220L	日韓交流史	4				
					○	ANS2380L	アジアの思想と宗教	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
						ANS2141L	中国文化論	4	○	ANT3110L	イスラーム文化論	4				
世界の中のアジア					○	ANS2381L	発展途上国論	4	○	ANS3110L	アジアの政治	4				
						ANS2120L	アジアの経済	4		ANS3380L	東北アジア研究	4				
						ANS2150L	東アジアの現代社会	4		ANS3180L	東アジア研究	4				
					○	ANS2180L	東南アジア研究	4		ANS3181L	南アジア研究	4				
					○	ANS2181L	東南アジアの現代社会	4	○	ANS3182L	西アジア研究	4				
					ANS2310L	オセアニアの政治と経済	4		ANS3381L	アジア女性論	4					
									ANS338*L	アジア研究特論	4					

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕

アジア地域研究専攻プログラム

5 東アジア文化研究・履修モデル

日本、中国、韓国を含む東アジアは、歴史的に、思想的に、そして文明論的に、漢字文化圏と呼ばれてきた地域です。東アジアは、その点において、自己を形成する源流でもあり、また自己を映し出す最も重要な他者でもあります。東アジア文化という対象に、学問的な関心を持つリベラルアーツ学群の学生のために、次のような履修モデルを提案します。

アジア地域研究専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
入門基礎	○	HIS1000L	世界史概論	4												
		POL1000L	政治学概論	4												
		REL1000L	宗教学概論	4												
		ANT1000L	文化人類学	4												
	○	ANS1000L	アジア研究概論	4												
アジアの歴史と文化						ANS2131L	アジアの歴史Ⅰ	4	○	HIS3250L	ユーラシア文化交流史	4				
						ANS2132L	アジアの歴史Ⅱ	4		HIS3220L	日韓交流史	4				
						ANS2380L	アジアの思想と宗教	4	○	ANT3111L	儒教文化論	4				
					○	ANS2140L	韓国文化論	4	○	ANT3112L	仏教文化論	4				
					○	ANS2141L	中国文化論	4		ANT3110L	イスラーム文化論	4				
世界の中のアジア						ANS2381L	発展途上国論	4		ANS3110L	アジアの政治	4				
						ANS2120L	アジアの経済	4	○	ANS3380L	東北アジア研究	4				
					○	ANS2150L	東アジアの現代社会	4	○	ANS3180L	東アジア研究	4				
						ANS2180L	東南アジア研究	4		ANS3181L	南アジア研究	4				
						ANS2181L	東南アジアの現代社会	4		ANS3182L	西アジア研究	4				
						ANS2310L	オセアニアの政治と経済	4		ANS3381L	アジア女性論	4				
									ANS338*L	アジア研究特論	4					

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕